

中大倉山自然観察教育林のシロヤシオ (ゴヨウツツジ)群生地の保護対策について

1 中大倉山自然観察教育林の特徴

中大倉山自然観察教育林は、三本槍山麓の標高1,300mから1,600mに位置し、茨城県境の八溝山系をはじめ、那須町、那須塩原市、白河市の平野部が見渡せる景観に優れている。

植生は温帯植物の分布圏内に属するが、標高の高い地区には北方系、裏日本系植物も混在しており、ブナ、ミズナラ、ダケカンバ、高木林の下層植生にチシマザサ等の笹類が分布する森林を構成している。特に、標高1,300m以上の地域には樹齢300年を超えるシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地が見られるのが特徴である。しかし、近年、モミ等の高木による被圧で、一部に立ち枯れが目立ち始めている。



シロヤシオ(ゴヨウツツジ)の花

※那須町による周回コースの整備



歩道の状況

那須町は中大倉山山頂周辺のシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地に歩道(周回コース2.8km)を設定し、自然観察の場としている。

このコースは、春には新緑とシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の花、夏はブナ林散策やハイキング、秋は紅葉、冬はスキーと四季を通して、雄大な自然とのふれあいの場となっており、年間20万人ほどが訪れている。

- ・所在地：那須郡那須町大字大島字中大蔵山国有林143林班外2林班
- ・面積：131.30ha
- ・法令の制限:保安林、国立公園等の指定状況
 - ・水源かん養保安林
 - ・日光国立公園普通地域
 - ・林野庁指定によるレクリエーションの森「中大倉山自然観察

教育林」

2 シロヤシオ(ゴヨウツツジ)群生地の重要性

中大倉山自然観察教育林内には那須町が設置した歩道に沿って、2.8kmにわたり、シロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地が見られ、地元那須の自然に学ぶ会等から保護に対する要望が出されている。

シロヤシオ(ゴヨウツツジ)は皇室の^{としのみや}敬宮愛子内親王殿下の「お印」とされ、清楚で上品な白い花が咲く、葉が五枚(五葉)であることから名前の由来となったものである。

この群生地には3万本程度のシロヤシオ(ゴヨウツツジ)が生育し、なかでも根株20cm以上、樹高5m~6m以上の大木にもなると林齢300年と考えられる。しかし、モミなどの高木が成長した結果、林内がうす暗くシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の立ち枯れや林内植生が劣化した場所が出始めておりシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地や高山植物の保全と入込者も楽しめる適切な利用を進めることが重要となっている。



良好なシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地

・シロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地の所在

栃木県那須郡那須町大字大島字中大蔵山国有林143林班は小班内
(別紙位置図)

3 シロヤシオ(ゴヨウツツジ)の群生地と立ち枯れの関係

群生地の一部に立ち枯れ木が見られるが、この現象はモミの高木が繁り、林内が暗いところほど目立っている。一方、林内が明るくシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の立ち枯れが見られないところは、モミや広葉樹が少なく、下層



林況、シロヤシオ(ゴヨウツツジ)を被圧され枯れている

植生にはマイヅルソウやギボウシがある。

林内の踏査結果では、あきらかに人の手が入ったと思われる朽ちた伐根があちこちに見られることから、以前にシロヤシオ(ゴヨウツツジ)以外の樹木を薪炭利用したものと考えられる。

しかしながら、近年、伐採利用がなくなり、モミや広葉樹が生い茂り、シロヤシオ(ゴヨウツツジ)が被圧され、林内照度低下による光合成力が低下し花が咲かず枯れるものと考えられ、また、下層植生も劣化している。

4 今後のシロヤシオ(ゴヨウツツジ)の保護策について

シロヤシオ(ゴヨウツツジ)群生地の生育環境を保全するための立ち枯れ対策と中大倉山自然観察教育林への入込み者の安全確保を促進する。

実施内容

(1) 遊歩道周辺の安全確保

枯損木、風倒木の処理、歩行に危険な枝の除去。

(2) 遊歩道周辺の笹の刈出しによる高山植物の回復

(3) シロヤシオ(ゴヨウツツジ)立ち枯れ防止対策

シロヤシオ(ゴヨウツツジ)を被圧している上層木のモミと広葉樹の伐採。

(4) 展望広場等観察箇所にあつては周辺の樹木を整理し、眺望を改善する。

(5) ボランティア等による作業の実施と法令等の手続きを森林管理署が行う。

5 4による改善効果

(1) 中大倉山自然観察教育林の利用者の安全を確保できる。

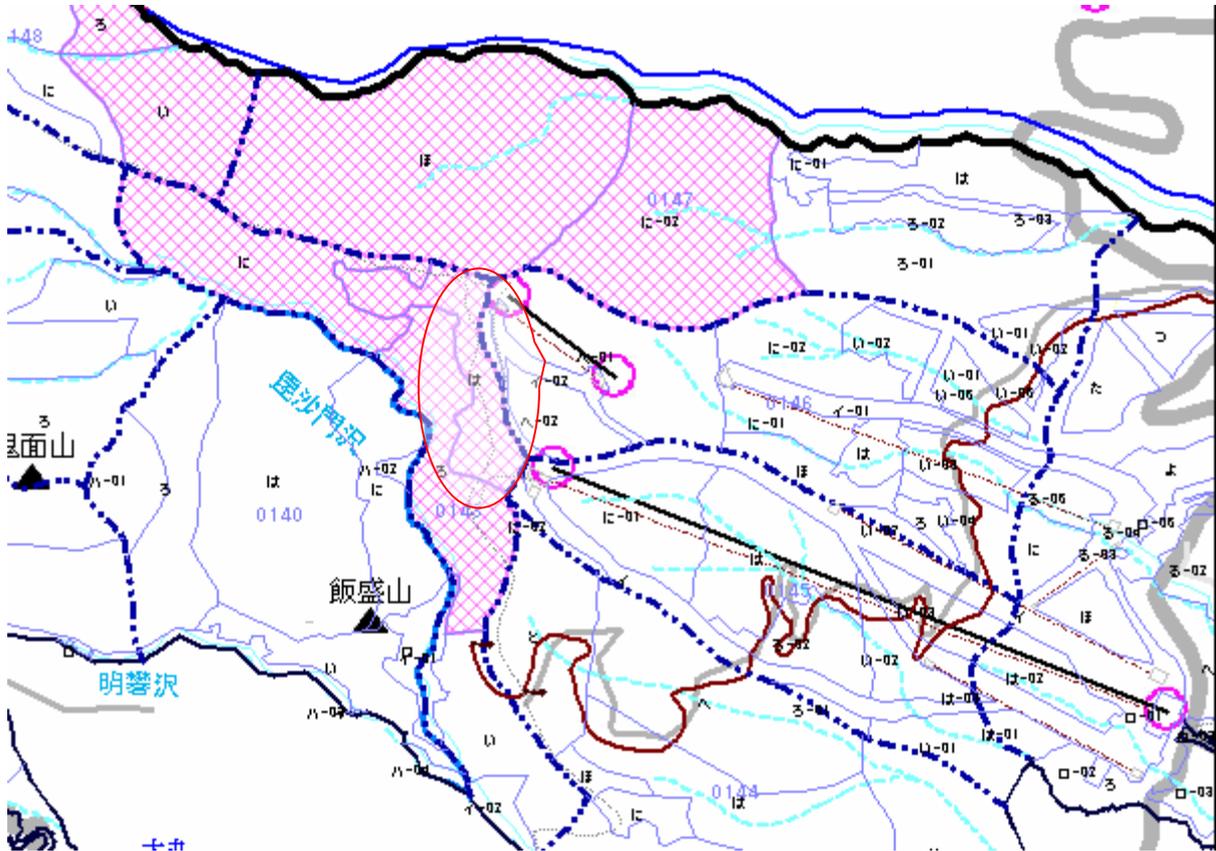
(2) 林内に光を取り込むことにより、林内の明暗、立体感を改善し、景観の向上に資する。

(3) 林内に光を取り込むことにより、シロヤシオ(ゴヨウツツジ)の花芽の増加、立ち枯れを防ぎ、林床の高山植物等が増える。

(4) 明るい林内の季節毎の花々が豊かになり、新緑や紅葉季の景観が改善され、自然にふれあう感動と癒し効果が高まる。

(5) 林床植生が豊かになり、保水力機能を高めるとともに、生物の多様性が確保される。

中大倉山自然観察教育林 位置図



シロヤシオ(ゴヨウツツジ)群生地の保護対策の対象地

所在: 那須町大字大島字中大蔵山国有林 143 林班は小班

面積: 林地 8.43ha、貸付地 0.11ha

対象地: 143 林班は小班の一部 約 6ha



森林の状況と遊歩道沿いの保護看板